

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

通信 八幡堀界隈 瓦 かわら 版

2016 Vol.17



八幡堀と町衆の430年の道のり (17)

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」



秀次公は長宗我部征伐の功により43万石城主として八幡に封ぜられ八幡山に城を築きました。山形屋初代西川仁右衛門は天正13年(1585) 近江国蒲生郡南津田村から八幡に移住し、八幡山城の折に大工組として工務監督を務め、更に同地堀川移出入調査役に任じられました。

【山形屋 西川甚五郎】(非公開 大杉町)

初代西川仁右衛門は南津田村に生まれ、西川家の創業は永禄9年(1566) 商売を始めました。八幡に移住し、楽市楽座(営業の自由)が宣言され、天正15年(1587) 八幡に店を設け蚊帳、畳表などを商う山形屋を開設しました。四男として甚五郎は天正13年(1585)に誕生しました。慶長元年(1596)この頃父仁右衛門は、4人の息子(市右衛門・弥兵衛・久右衛門・甚五郎)を一人づつ連れ能登鳳至郡門前町の地に赴いて蚊帳を販売し、帰りに能登の海産物を仕入れ八幡山下町で卸し売りをを行い、この商いは慶長7年(1602)の頃まで続けられました。現在は布団の西川で有名です。

今日、蚊帳といえば萌黄色に紅布の縁がついたものをイメージします。これが近江蚊帳で、そのデザインを考案したのが甚五郎です。緑と赤、このデザインが江戸時代の人達の評判となり、一躍人気商品として定着しました。この蚊帳を創るに至った話が今も伝えられています。「甚五郎が江戸に向かって箱根越えの途中木陰に身を横たえ休みを取って、気がつく、緑色のつたがずらが一面に広がり生き生きとした若葉の色が目映えて、そのさわやかな気分はまるで仙境にいるようでした。『夢』から覚めた甚五郎は、『寝る時も、また目覚めた時も、涼味あふれる緑に囲まれていたならば、蚊帳の中にいる人の気持ちを和ませ、爽快な気持ちにさせるであろう』と考えました。」近江蚊帳はこのようにして、萌黄色に染められ紅色の縁取りを施されて登場したのです。甚五郎は近江蚊帳の評判により山形屋を飛躍させました。

慶長5年(1600) 関が原の戦いで徳川方の物資調達を請け負ったことから、江戸開府後の元和元年(1615)、日本橋のたもと(現在、株式会社西川のある日本橋二丁目)に店を構えたのが江戸進出の第一歩です。江戸時代には主に蚊帳を扱っていましたが、後に弓の販売も手がけるようになりました。寛政元年(1789)に7代目利助が年2回の決算後、純利益の3分の1を従業員に分配する(現在のボーナス・退職金に相当)、という画期的な「三ツ割銀制度」を導入し、寛政11年(1799)には資金の運用方法や積み立ての目的等を制度化し、「定法書」として明文化しました。このような偉業から、7代目利助は中興の祖と言われています。

江戸から明治に移り、11代目甚五郎の時代に、季節商品の蚊帳に変わる商品として布団の製造販売を始めました。それまで布団は自家で作るものでした。商品化は画期的なことだったと思います。

11代目から13代目は国会議員を務め13代目は国務大臣・北海道開発庁官を務める等政治経済に活躍し、近江八幡の名譽市民に選ばれています。

西川の祖は、19歳で近江から行商に出て江戸に進出し、営々と現在に続く西川の礎を築き上げました。さらにその時々の、時代を先取りするパイオニア精神、チャレンジ精神が今日に引き継がれています。

※参考文献 ウィキペディア/近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊

歴史まんがで学ぼう!

湖の幸に恵まれているため、古くから豪族が住み、佐々木氏が出てきています。

「近江を制するものは天下を制する」と言われ、次いで織田信長が安土に城を築きました。そして、京都本能寺にて信長亡き後は、豊臣秀吉の天下となりました。秀吉の甥「豊臣秀次」は、天正13年、近江の国 蒲生・神崎・野洲の43万石を与えられ、近江八幡に城を築き、安土の町民を移しました。まちづくりの先駆者「豊臣秀次」の偉業を知ります。

この約430年前の歴史を紐解き、若くして大名となり、お家の為に自らの命を絶ったナンバー2の生涯を、次世代の子どもたちに学んでいただく為、また、地域のプライドづくりと日本の歴史のおもしろさを感じ取っていただけるように歴史まんがで企画展示しています。

近江は自然や湖の幸に恵まれているため、古くから豪族が住み、佐々木氏が出てきています。

「近江を制するものは天下を制する」と言われ、次いで織田信長が安土に城を築きました。そして、京都本能寺にて信長亡き後は、豊臣秀吉の天下となりました。秀吉の甥「豊臣秀次」は、天正13年、近江の国 蒲生・神崎・野洲の43万石を与えられ、近江八幡に城を築き、安土の町民を移しました。まちづくりの先駆者「豊臣秀次」の偉業を知ります。

この約430年前の歴史を紐解き、若くして大名となり、お家の為に自らの命を絶ったナンバー2の生涯を、次世代の子どもたちに学んでいただく為、また、地域のプライドづくりと日本の歴史のおもしろさを感じ取っていただけるように歴史まんがで企画展示しています。

◆お茶会 11月18日(金)
PM 13:00~16:30 旧 西川家住宅庭園
豊臣秀次公は文才にすぐれ、茶の世界でも才能がありました。西川家のお庭でお茶席をご用意しております。
一席 500円 近江八幡商工会議所女性会

◆チケット好評発売中
◆近江八幡市立資料館 旧西川家住宅 (夜学講座 3回シリーズ) 開場PM17:00 開演PM17:30

◆秀次談義

◆入館料

◆主催：近江八幡市立資料館 (指定管理者・株式会社かんでんジョイナス)
〒523-0871 滋賀県近江八幡市新町2丁目22 Tel 0748-32-7048 Fax 0748-32-7051
後援：近江八幡教育委員会・(一財)ハートランド推進財団・(一社)近江八幡観光物産協会・NPO法人秀次倶楽部
近江八幡観光ボランティアガイド協会・秀次公顕彰法要実行委員会・近江八幡商工会議所女性会

特別展 豊臣秀次公 近江八幡市立資料館

平成28年10月23日(日)~平成29年1月20日(金)

◆秀次公縁起絵巻・瑞泉寺縁起絵巻の一部を展示

クイズ 八幡商人の代表である「西川甚五郎」の屋号は〇〇屋です。

旧市街地の中心・大杉町通り西川家本宅として位置し、非公認ですが西川甚五郎邸として、外観が見ることが出来ます。〇〇屋西川甚五郎の家号はなんでしょう。

抽選で5名様

市立資料館入場券ペアと 葺うどんお食事券ペアを差し上げます

◆ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。

抽選でお送りします。(応募締切は11月5日必着)

当選者の発表は発送をもってご了承下さい。

T 52310837 近江八幡市大杉町30の1(有ほのほの館 クイズ係)
FAX 0748・322・3514

当選者発表

西村太郎右衛門	答え:
正神町	K.Dさん
武佐町	N.Kさん
香羽町	T.Nさん
竹町	F.Nさん
出町	F.Kさん

日本一「遅い」乗り物 手漕ぎ和舟で堀めぐり

完全予約制 所要時間約30分

◆新町浜から幸円橋往復

料金…大人 1000円(税別)
小人 500円(税別)

〳〵化石燃料をつかわない〳〵 学びと発見の手漕ぎ舟eCOトリップ

ギャラリースペース新町浜 (詳細はお問い合わせ下さい) 0748-36-5115



トマト倶楽部
PRESENT

お誕生日・記念日 花束プレゼント (11月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * つながる美・引き継ぐ心 滋賀県立近代美術館 11月23日迄 50名様
- * 新知恩院と乗念寺 大津市歴史博物館 11月27日迄 50名様
- * マリー・ローランサン展 美術館「えき」KYOTO 11月27日迄 30名様
- * 浄土真宗と本願寺の名宝 龍谷ミュージアム 11月27日迄 10名様
- * 三蔵法師展「薬師寺の宝物とともに」 佐川美術館 11月27日迄 10名様
- * 特別展 珠玉の湖東焼 滋賀県立陶芸の森陶芸館 12月11日迄 20名様
- * JEWELS ムガール帝国とマハラジャの宝石カタール・アルサーニ・コレクション MIHO MUSEUM 12月11日迄 20名様
- * 京都芸大 美を語る スクラップブック 20名様
- * なんでもスクラップ帳 10名様
- * 京都新聞オリジナル トートバック白 20名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品を上記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。
締切は花束、10月31日迄 発送をもって取り承ください。
洗剤、チケット等は11月5日迄 発送をもって取り承ください。

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

長命寺

ちょうめいじ

琵琶湖畔にそびえる長命寺山の山腹に位置し、西国三十一番札所の聖徳太子開基の寺で、参詣客も多く、琵琶湖の眺めも美しい寺院です。麓から本堂に至る 808 段の長い階段で知られています。伝承によれば、第 12 代景行天皇の時代に、武内宿禰(すくね)がこの地で柳の木に「寿命長遠諸願成就」と彫り長寿を祈願しました。このため武内宿禰は 300 歳の長命を保ったと伝えられています。その後、聖徳太子がこの地に赴いた際、武内宿禰が祈願した際に彫った文字を発見し、これに感銘を受けてながめていると白髪の老人が現れ、聖徳太子は早速、十一面観音を彫りこの地に安置し、武内宿禰の長寿にあやかり、「長命寺」と名付けたと伝えられています。その名の通り、参拝すると長生きすると言い伝えられています。



実際の創建年次や創建の事情については未詳であり、確実な史料における長命寺の寺号の初見は、承保元年(1074年)3月2日付の「奥島庄司土師助正島地寄進状」という文書にあります。

長命寺には中世以降の文書が豊富に残されており、中世の長命寺は比叡山(延暦寺)西塔の別院としての地位を保ち、近江守護佐々木氏の崇敬と庇護を受けて栄えていました。しかし、永正 13 年(1516 年)、佐々木氏と伊庭氏の対立による兵火により伽藍は全焼しました。現存する堂宇は室町時代から近世初期にかけて再建されたものです。

本堂内陣の厨子には、「千手十一面聖観世音菩薩三尊一体」、つまり、千手観音像(像高 91.8 cm)は一木割彫造、素地截金仕上げ、で、平安時代末期、12 世紀頃の作、十一面観音像(像高 53.8 cm)は、千手観音像より古い 10 世紀ないし 11 世紀の作、聖観音像(しょうかんのんぞう)(像高 67.4 cm)は鎌倉時代の作と推定され、3 体が長命寺の本尊であるとされています。(いずれも重要文化財、秘仏)これらの像を安置する厨子は前の間と後の間に区分され、後の間には地蔵菩薩立像と薬師如来立像が安置されています。

〒523-0808

滋賀県近江八幡市長命寺町157番地

◇交通

- ・JR東海道線近江八幡駅下車、近江バス25分、長命寺着石段参道又は新参道
- ・関西方面からは名神高速竜王インターより国道8号線を右折二つ目の川を渡ったすぐの信号東川を左折北進8km
- ・彦根方面よりは国道8号線、国道武佐より渡合橋を通り北へ10km
- ・山麓より山上迄自動車登山道あり

◇駐車場

有 (山上P乗用車50台,山麓 バス5台)

◇拝観料 無料

◇拝観時間 8:00~17:00

◇電話 0748-33-0031

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

スタッドレスタイヤ
予約受付中!

QRコードで
簡単アクセス



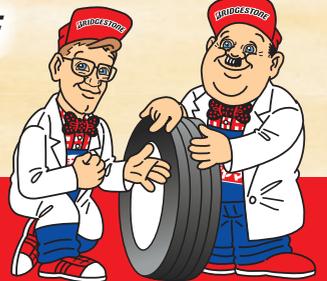
各種メーカー・お買得タイヤ
豊富にご用意しております

クーポン特典
ご予約又はタイヤご購入で
粗品進呈! 平成28年11月末まで有効



発泡ゴムで
しっかり止まり
効きも長持ち
VRXがオススメ!

BRIDGESTONE
BLIZZAK
VRX



ボクらは街の安心ショップ

タイヤマン カジナオ

近江八幡市桜宮町205
TEL(0748)33-2939

営業時間
8:00~19:00